



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成23年 月 日

大分県知事 広瀬 勝 貞 殿

提出者

住 所 竹田市大字今856

氏 名 株式会社北九州ジェイエイ畜産
竹田肉用牛肥育実験牧場

代表者名 場長 藤山 弘 軒

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0974-65-252

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社北九州ジェイエイ畜産竹田肉用牛肥育実験牧場
事業場の所在地	竹田市大字今856
計画期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	(牛 523 頭) (豚 頭) (鶏 羽)
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜のふん尿 1. 処理業者に委託 2. その他 家畜の死体 1. 処理業者へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (22 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	排 出 量	3,766 t	6 t
	(これまでに実施した取組)		
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	排 出 量	2,400 t	2 t
	(今後実施する予定の取組)		
該当なし			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 22 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 22 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (22 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (22 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿
	全処理委託量	3,766 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	3,766 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	全処理委託量	2,400 t	2.4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	2.4 t
	再生利用業者への 処理委託量	2,400 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も再利用業者へ委託する。 ・ 動物の死体については、処理業者に委託する 			
※事務処理欄			